

三九四七番

今朝けさの朝明あさけ 秋風寒あきかぜさむし 遠とほつ人ひと 雁かりが来き鳴なかむ  
時とき近ちかみかも

三九四八番

天離あまざかる 鄙ひなに月経つきへぬ 然しかれども 結ゆひてし紐ひもを  
解ときも開あけなくに

三九四九番

天離あまざかる 鄙ひなにある我われを うたがたも 紐ひもと解とき放さけ  
て 思おもほすらめや